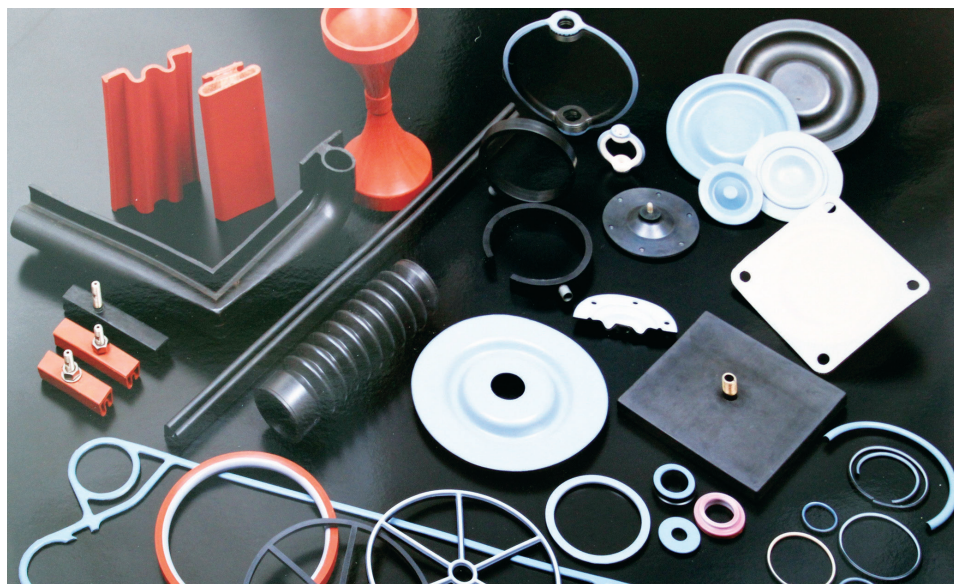


「ゴムを科学する」 ゴム製品の機能を最大限発揮

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



製品群

主な事業内容

膨張シール、ダイヤフラム、高性能
ゴム複合製品などの設計・製造

主な取引先(納入先)

食品機械メーカー、
製薬機械メーカーなど

主な製品

膨張シール、ダイヤフラム、
熱交換機用パッキンなど

業務 内容 ゴム製品の技術 開発会社として約40年

創業者で元大手シールメーカー技術者の竹延清次郎社長が、独立して高性能ゴム製品の技術開発会社を設立した。「ゴムを科学する」をコンセプトに、ゴムと高機能材料を複合一体化し、シール機能を向上させる製品を開発する。世界に通用することを見すえラバーマテリアルと命名した。

同社が培った約40年のゴムや特殊樹脂を組み合わせた設計と製造ノウハウは、他社が真似できないもの。多くのメーカーから共同開発の相談があり、膨張シールなど従来の形状・構成とは異なる主要製品が相次ぎ誕生した。竹延社長は「近年は環境など世の中に貢献する設備の共同開発に関わっている」とやりがいを感じている。

強み 柱は膨張シール、ダイヤ フラム、高性能複合製品

「当社の強みは独自に高機能製品を開発していること」と竹延社長は語る。複合製品の設計・製造ノウハウから生まれてきた膨張シール、ダイヤフラム、高性能ゴム複合製品は、独自性と高い技術力に裏打ちされている。

社長あいさつ



代表取締役
たけのぶ

竹延 清次郎さん

当社の基本理念は「創夢技人」。「我が社員には技術がある。創造がある。夢がある。」社員が自分の技術を磨き、夢の実現に向けて新しいものを創造していきます。会社の発展のために一人ひとりが全力を傾け、経営者も応えます。ゴムに関する高い知識と技術を駆使したものづくりで環境保全や、社会の発展にも貢献する会社でありたいと思います。

主な保有設備

■ 非公開

その中でも膨張シールは、継ぎ目のない一体成形により耐久性に優れ、高性能が要求される用途に使用されているダイヤフラム、複合製品は、他の樹脂素材と組み合わせで耐久性、耐食性、非汚染性、非粘着性などが改善できるため、顧客ニーズに合わせた製品を提供している。

導入 実績 鉄鋼炉や真空容器、 ポンプなど幅広い分野で用途

同社の設計・製造ノウハウから生み出された製品は、多岐にわたる。流体間の隔離膜の機能を持ち、主にポンプ用のダイヤフラムはジャバラ式にして長寿命化を実現。幅広い用途で使われる膨張シールは、排ガス測定室の密封用や原子力発電所の廃炉のパイプを塞いで放射性物質漏れを防ぎ、周辺作業の安全性を確保する重要部材にも使われている。焼鈍炉にも多くの納入実績があり、顧客から納期や品質の面で高評価を得ている。

現在は高温高圧や超低温下で摺動抵抗を小さくする要望も多い。真空容器や焼却炉、水素関連機器などの新規開発依頼も増えており、共同開発に挑んでいる。



テフロン張りダイヤフラム



膨張シール

大阪
03

住 所 / 〒581-0036
八尾市
沼1-68-82
T E L / 072-949-6550
F A X / 072-949-7689
創 業 / 昭和59年6月
設 立 / 昭和59年6月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 6名



<https://www.rubber-material.co.jp/>